

●おしらせ ●とびっくす ●読者からのおたより

おしらせ

群馬県立自然史博物館で特別展
「奥利根 その自然をさぐる」開催中!

利根川の源流って、どんなところ? いま、群馬県の学術調査隊にスポットをあてた特別展が開催されている(5月7日(日)まで)。「探検隊」気分で見に行ってみよう!

●コーナー展示(いろんなコーナーで「奥利根」がわかるぞ)

【奥利根はこんなところ】

地図と写真で見る奥利根

【奥利根の自然と人と】

猟師や鉋山師など奥利根を生活の場としてきた人たち

【奥利根調査の歴史】

明治時代から現在までの探検隊や調査の歴史

【奥利根の自然-2回の学術調査から】

奥利根の地形・地質・動植物など

【学術調査隊の生活と装備】

学術調査隊のくらしと生活用具の実物の展示

【奥利根の水-その保全】

雪と水のこと・水資源のたいせつさ

【奥利根シアター】

奥利根の調査のようすを大画面スクリーンで上映



●午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

●月曜日はお休み(月曜日が祝日の場合は翌日がお休み/5月1日は開館)

●中学生以下無料/一般 600円/高校・大学生 300円

●問い合わせ: 県立自然史博物館(富岡市)

電話0274-60-1200

この冬、記録的な「豪雪」に
みまわれた利根川の水源地

みなかみ町の幸知小学校の校舎でも大がかりな雪おろしが行われた

昨年(さくねん)からことしにかけて、きびしい寒さと大雪が日本列島(れっとう)をおそった。12月の月平均気温(つきへいきん きおん)は、東日本・西日本ともに戦後最低(せんご さいてい)を記録(きろく)するほどだった。

利根川(りねんがわ)の水源地「みなかみ町」でも、これまでの記録をはるかに上回る豪雪(ごうせつ)にみまわれ、たくさん(たくさん)の人がたいへんな思いをした。町に長くすんでいる人も「こんな雪(ゆき)はいままでになかった」と言うほどだったんだ。みなかみ町藤原(ふじはら)では最大積雪量(さいだいせきせつりょう)、3m17cm(さんめいしちせんち)を記録した。みんなの学校の教室(きょうしつ)の天井(てんけい)までの高さ(たかさ)が約3mだから、教室(きょうしつ)が雪(ゆき)でうまってしまふほどの高さ(たかさ)だった。びっくりだね。

藤原ダム(ふじはらだむ)、奈良俣ダム(ならまただむ)、矢木沢ダム(やぎさわだむ)など、水源地(すいげんち)のダム(だむ)にもたくさん雪(ゆき)がふった。それでも、ダム(だむ)は眠(ね)らない。雪(ゆき)にうもれているあいだも、ダム(だむ)の管理(かんり)は休(やす)むことなくつづく。たとえば、ダム(だむ)の施設(しせつ)を点検(てんけん)したり、堤体(ていたい)の中(なか)を監視(かんし)したり、川(かわ)やダム(だむ)の水(みづ)を観測(かんそく)したり…。春(はる)が来(き)れば、こんどは雪(ゆき)どけ水(みづ)を管理(かんり)するという大きな仕事(しごと)が待(まち)っているんだ。



第14号(だいじゅうよごう)を読んで、みんなから寄せら(よせら)れた意見(いせん)や感想(かんそう)を紹介(しょうかい)するね。

○川(かわ)にまつわる話は私の家の近くの木曾神社(きそじんしゃ)の話(はなし)でもおもしろく、きょうみしんで読みました。とくに、箱田(はこだ)のことを「はこだ」と答(こた)えた義仲(よしのぶ)の家来(けらい)の話(はなし)はおもしろかった。(渡川市・中1)

○何気(なんげ)なくつかっている電氣(でんき)がダム(だむ)の発電所(はつでんじょ)によって作(つく)られていることがよくわかりました。大切に電氣(でんき)を使(つか)っていききたいと思います。(松井田町・小6)

○いろいろな自然(しぜん)のエネルギーを使(つか)った発電所(はつでんじょ)を紹介(しょうかい)していて勉強(べんきょう)になった。これからは、こういうものが活躍(かつやく)するんだと思うとすごいと思いました。(藤岡市・小3の母)

○川(かわ)いいカルタがおもしろくてよかった。何度も何度も遊びました。遊びながらいろいろなことがおぼえられてとても勉強(べんきょう)になりました。(太田市・小2)

○川(かわ)いいカルタは、かわいいい絵(え)ふだと県内(けん内)の小中学生(しょうちゅうせい)が考えた読みふだの、川(かわ)やダム(だむ)についての紹介(しょうかい)がわかりやすく、よかったです。(前橋市・中2)

○奥利根(おくりね)の妖怪(やかい)「わう」の話(はなし)がおもしろかったと思います。昔話(むかしばなし)や民話(みんわ)にはすごく興味(きょうみ)があるので、これからもいろいろな民俗(みんそく)の話(はなし)をのせてほしいと思います。(藤岡市・中3)

○利根川(りねんがわ)の源流(げんりゅう)が「奥利根」ということを初めて知りました。なにげに見(み)ている利根川(りねんがわ)だけ、源流(げんりゅう)にはいろいろな話(はなし)や伝説(でんせつ)などがあることがわかり、すごく勉強(べんきょう)になりました。(伊勢崎市・小6)

○毎回(まいかい)お母さん(おはは)といっしょに読んでいます。これを読(よ)むと水(みづ)も管理(かんり)されているのがよくわかります。私(わたし)たちが毎日(まいにち)なにげなく使(つか)っていますが、たくさんの人(ひと)たちが毎日(まいにち)仕事(しごと)をしていてくれるおかげなんです。これからももっと水(みづ)を大切にしたいです。(松井田町・小5)

○ぼくは毎日(まいにち)ごみごみした街(まち)の中に暮(く)らしているの、母(はは)の故郷(こきょう)の群馬(ぐんま)へ帰(かえ)るとほっとします。それは、群馬(ぐんま)はたくさん(たくさん)の川(かわ)やダム(だむ)があつて自然(しぜん)がきれいだからだと思います。ぼくたち(ぼくたち)東京都民(とうきょうとみん)にとつて利根川(りねんがわ)は命(いのち)の母(はは)のようなものだと思います。いつまでもきれいな利根川(りねんがわ)であつてください。(東京都足立区・中3)

※これまでに寄せられた質問(しつもん)に対しての回答(こたへ)を利根川ダム統合管理事務所(りねんがわだむとうごうかんりじむしょ)のホームページ(ホームページ)(アドレスは1ページ下(した)に掲載(ていしやく)しているので、見てね！)